

第 2 回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

1 第 2 期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」(素案) について

No.	主なご意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> 国は 2060 年に総人口 1 億人を確保したいと言っているが、国の上積みの目標に合わせて、土浦市としては、どれくらいの人口を確保したいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市の将来目標人口については、人口動態の分析及びアンケートの結果を受けて目標人口を設定しており、第 1 期人口ビジョンでは、2060 年の目標人口を 108,500 人とし、17,000 人の上積みをする事としている。第 2 期人口ビジョンにおける将来目標人口についても、第 1 期人口ビジョンと同様に人口動態の分析及びアンケートの結果を受けて設定していくものであり、今後御議論いただきたいと考えている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 土浦市では、シティプロモーションの動画をホームページで公開しているが、それでは一般市民が見るとは限らない。地区のコミュニティセンターで上映会をしたらどうか。土浦から出て、いずれ戻ってくれるのではないか。日立では、映画館で予告編が流れるときにシティプロモーションの動画が流れていた。水戸等で土浦の動画を上映できれば、茨城県から土浦に呼び込むことができる。また、東京の方々を呼び込むのは難しいと思うが、首都圏の東京以外の県や、近隣の市町村で上映できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> シティプロモーションの動画については、本市ホームページで公開しているほか、現在は、民間企業の要望に応じて、貸出しを行っている状況である。また、本市のシティプロモーション活動については、土浦市シティプロモーション戦略プランに基づき、注力しているところであるが、当該プランについても現在第 2 期プランの策定作業中であり、本総合戦略と合わせて今後の施策について検討していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 素案では、8 地区別の人口分析を行っているが、大規模造成を行った地区は人口増加しているなど、地区によって人口変化の原因が異なると考える。 将来人口のシミュレーションの中で、人口ピラミッドなどに関して、地区別の世帯数の将来推計を何か示せないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区別の人口動態分析については、人口ビジョン(素案)第 2 章(1)及び(2)(前回素案 6 頁, 11~14 頁)で人口数及び年齢別人口の推移を掲載しているが、これらをまとめて、同章の(8)(今回素案 27~32 頁)で掲載し、この中で、地区別の人口増減率(H30/H14)を図化する(今回素案 28 頁)。 地区別の世帯数の将来推計については、地区ごとの推計に用いる自然動態、社会動態の係数を算出するのは難しいが、市全体の自然動態、社会動態の係数を用いて、地区ごとの 2060 年の人口ピラミッドを作成し、今回の人口ビジョン(素案)52~53 頁に第 3 章将来人口推計の参考資料として掲載する。

第2回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

No.	主なご意見等	回答・対応
4	<ul style="list-style-type: none"> 女性のが就業者が増えているとのことだが、正規雇用者数の割合は4割に留まっている。自らが望んだ結果なのかどうか。アンケートでは子育て世代にも質問するようなので、今後分かれば教えて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 女性の社会進出が進んでいる中で、非正規雇用者数が多い。望んだ結果なのかどうかについては、今回実施した子育て世帯アンケートにおいて、「現在パート等で就労している」と回答した方に今後フルタイムでの就労の希望の有無について尋ねる設問があり（問 17.），この集計結果では、「パート・アルバイト等続けることを希望している」と回答した方が54.9%と最も多く、前回調査（2014年）と比べると2.8%増加していることから、自ら望んで非正規雇用者となっている方も多いことがうかがえるものとなっている。
5	<ul style="list-style-type: none"> 水も空気も維持できるとは考えていない。例えば、水道や下水道は老朽化が進んでいるが、税収は減っていく。もっと問題として採り上げないといけない。 地域コミュニティを再生するのはなかなか難しい。市役所も様々な手を打っていると思うが、今後も継続して取り組んでいかないとはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市インフラの維持・管理の適正化や持続可能なコミュニティの形成については、第1期総合戦略の戦略分野IVにおいて位置付けているところであるが、達成状況が低いことから、第2期総合戦略においては、取組の重点化について今後議論していきたいと考えている。
6	<ul style="list-style-type: none"> 社会減の人口が縮小している。要因が掴めれば、今後の施策の参考になるので、分かれば教えて欲しい。 昼夜間人口をみると、昼間の方が多いとのことであるが、定住人口を増やして、経済活性化につなげたい。定住人口をどうやって増やすのか、また、手伝えることはないかお聞きしたい。 東京に人口が流出するのはやむを得ないとして、その抑制をどうするのか。守谷市やつくば市は転入超過となっている。土浦市との違いを捉えて、通学通勤がしやすい環境づくりなどをすることで、空家対策や夜間人口の増加につなげていく。土浦市だけではなく、国や近隣市町村と連携して取り組んでいかないとはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会減の人口が縮小については、様々な要因が関係して、起きている。中心市街地に市役所やマンションが立地し、常磐線が品川までアクセスするようになったのも関係しているのではないか。今後も、分析を行いたい。 つくばエクスプレスが開通して、大規模宅地造成が行われたところは人口が増えているが、それ以外の県内の市町村は減少している。本市としては、コンパクトシティの考えの基に中心市街地にインフラを集めること、常磐線の利便性を向上することなどにより、近隣市町村の転出抑制や定住人口の増加を更に図っていききたい。

第2回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

No.	主なご意見等	回答・対応
7	・65歳以上人口の東京圏からの転入が多いとあるが、東京圏に近いという地理的優位性を踏まえて、65歳以上をどんどん受け入れていくことを打ち出す方向性もあるのではないか。	・第1期総合戦略においては、戦略分野Ⅱでアクティブシニア層を含めた多様な世代の転入促進に関する施策を位置付けており、第2期総合戦略でも検討したい。

2 土浦市将来の人口ビジョンに係るアンケート調査の実施について

特になし。

